

特別展

## 江戸ものづくり列伝

—ニッポンの美は職人の技と心に宿る—



### CONTENTS

- 企画展 天下泰平～将軍と新しい文化の創造～
- 展示事業係から ホールリニューアル記念 えどはく寄席スペシャル  
「浮世絵と邦楽 —隅田川をめぐる—」
- 研究の散歩道 稀代の刀工・長曾祢虎徹<sup>ながそねこてつ</sup>

# 「江戸ものづくり列伝

## —ニッポンの美は職人の技と心に宿る—

2020年2月8日(土)〜4月5日(日) \*会期中に展示替えがあります。  
1階 特別展示室

2020年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎え、東京が世界中から注目を集めます。当館ではその幕開けにふさわしく、日本が世界に誇る「ものづくり」をテーマとした特別展を開催いたします。ベニス東洋美術館所蔵「バルディコレクション」の日本初公開をはじめ、当館の所蔵資料を中心に、江戸東京で活躍した職人たちの仕事と人生に光を当ててまいります。

### 第1章

#### 伯爵が愛したニッポン

— 初来日 バルディコレクション —

1889年(明治22)2月、一人の西洋人が日本を訪れました。その名は、エンリコ・カルロ・デイ・ボルボーネ。バルディ伯爵の称号をもつ彼は、名門ブルボン王家の血筋を



な し じ ふじともえたちあおいもんちらしょうちくとうもんまき え ほかい  
梨子地藤巴立葵紋散松竹藤文時絵行器  
江戸時代 18世紀 ベニス東洋美術館(バルディコレクション)

引く貴族でした。バルディ伯爵は東洋諸国を巡る大旅行をし、その最後の行程に日本を訪問、数多くの美術品を買い求め、ヨーロッパに持ち帰りました。伯爵が集めた日本の文物は、現在イタリアのベニス

洋美術館などに保管されています。この章では、バルディ伯爵の日本コレクションを通じて、西洋人が求めた日本の美のかたちを見ていきます。

### 第2章

#### 武士の都のものづくり

徳川将軍家が住まう江戸は、武士の都として栄えました。江戸城や靈廟の建設・修理には、大工をはじめとする職人たちが、幕府の支配を受けた棟梁らに率いられて工事にあたりました。将軍や大名とその家族の生活に必要な家具調度の製作には、数多くの御用職人が関わっていました。将軍や大名の刀剣や刀装具・武器を調進する工人、儀礼や暮らしに必要な調度品を作る職人が腕を振りました。

本章では、都市江戸を作り支え

た職人たちの活動を表す諸資料や、幕府御用職人が手がけた名品の数々を紹介していきます。

### 第3章

#### 江戸の時絵師・羊遊齋と是真

本章では、江戸を代表する二人の時絵師、原羊遊齋と柴田是真を紹介します。

原羊遊齋は、当代一流の文化人と広く交わり名声を得ました。とくに江戸琳派の創始者酒井抱一とのコラボレーションは有名です。羊遊齋の仕事は、江戸の文化交流の中から生まれた漆工として注目されています。

柴田是真は、さまざまな変塗の技法を開発し、トリックアートとも呼ぶべき工夫を編み出しました。また絵師としても優れ、漆を油絵具のように用いて紙の上に絵

を描くという「漆絵」を開発しました。是真の作品からは、洗練された江戸人の粋と洒落、そしてものづくりを心から楽しむ遊び心が伝わってきます。

#### 第4章

### 鬼才の陶工・三浦乾也と隅田川のやきもの

江戸の人々の憩いの場として有名な隅田川ですが、かつてここが大窯業地帯であったことはあまり知られていません。浅草郊外の今戸で作られる土人形は、今戸焼の名で愛されました。隅田川のやきものはまた、文人趣味と結びつき名を高めました。そうした江戸の陶工の一人に、三浦乾也がいます。



今戸人形 猫抱おかめ  
金沢春吉/作 大正～昭和時代 20世紀  
資料番号 94004241

乾也は、尾形乾山の陶法を伝えられました。その一方で、洋式船の建造術を学び軍艦の建造に成功したという、ユニークな経歴を持っています。

ここでは、隅田川流域で栄えたやきものと陶工の足跡に光を当て、知られざる江戸東京の窯業の姿を紹介します。

#### 第5章

### 府川一則

### 北斎の愛弟子が歩んだ金工の道

府川一則は、江戸の金工師です。晩年の葛飾北斎に入門し、はじめ絵師として活動しましたが、北斎の死後は金工の道に転じました。幕府の御用を受け、文久永宝の母

銭の彫刻を手がけます。明治

維新を迎える

と、一則は有栖川宮熾仁親王の佩刀の装具

製作を命じられました。一則

の没後は、二人の息子が二代・三代と後を継

ぎ、皇室などの注文を受けて

金工品を製作しました。一則の弟子たちもまた技術を受け継ぎ、金工界で活躍しました。

この章では、府川一則の仕事を通して、変わりゆく時代の中で柔軟に対応しつつ伝統技術を守り抜く職人の姿を描きます。

最後の章は、江戸職人の技と心意気を守り続けた小林礫斎の作品を紹介します。

### 第6章 大正昭和に生きた江戸の技 小林礫斎のミニチュア工芸

最後の章は、江戸職人の技と心意気を守り続けた小林礫斎の作品を紹介します。

礫斎は、三代続く細工師の子として浅草に生まれ、煙草入れなど



むらびけの六瓢提物

小林礫斎/作 大正～昭和時代 20世紀  
資料番号 91210665

の袋物を手がけるかたわら、ミニチュアの製作に傾倒しました。礫斎の作品は、精巧を極め、単なる玩具の域を超えるものでした。彼はこれを「繊巧美術」と名づけました。礫斎は、美術界の地位や名誉とは無縁の市井の職人として、人生の最後までたゆまずその技術を究めていきました。礫斎は、江戸の残照を記憶しその伝統を受け継いだ最後の職人といえるでしょう。  
(学芸員 落合則子)

## information

### 特別展

## 「江戸ものづくり列伝 —ニッポンの美は職人の技と心に宿る—」

開館時間：9:30～17:30(土曜日は19:30まで) ※入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日(ただし2月24日は開館)、2月25日(火)

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、毎日新聞社

後援：イタリア大使館

協賛：大日本印刷、トヨタ自動車

協力：ベニス東洋美術館、アリタリア-イタリア航空

観覧料(税込)	特別展専用券	特別展・常設展共通券	特別展前売券
一般	1,100円(880円)	1,360円(1,090円)	900円
大学生・専門学校生	880円(700円)	1,090円(870円)	680円
中学生(都外)・高校生・65歳以上	550円(440円)	680円(550円)	350円
小学生・中学生(都内)	550円(440円)	なし	350円

※( )内は20名以上の団体料金。

※次の場合は観覧料が無料。未就学児童。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)。

※小学生と都内在住・在学の中学生は、常設展示室観覧料が無料のため、共通券はありません。

※シルバーデー(2月19日、3月18日)は、65歳以上の方は特別展観覧料が無料です。年齢を証明できるものをご提示ください。

※前売券は2019年11月19日(火)～2020年2月7日(金)まで販売。2月8日(土)から会期中は当日料金で販売。

(チケット販売所) 江戸東京博物館、主要プレイガイド(手数料がかかる場合があります。)

※特別展・常設展共通券の販売は江戸東京博物館のみ。

企画展

# 天下泰平

## — 将軍と新しい文化の創造 —

2020年1月2日(木)～2月16日(日) \*会期中に展示替えがあります。

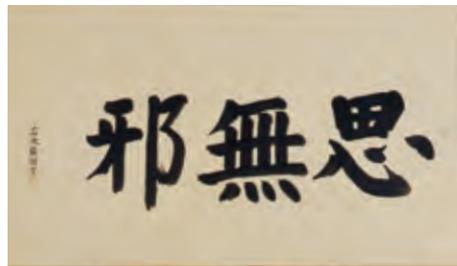
常設展示室 5F企画展示室

将軍、この立場の人物を思い浮かべるとき、英雄で豪傑な姿を連想する人は少なくないでしょう。約260年間にわたって天下泰平の世をもたらした徳川家の歴代将軍は、自身が文化人であるとともに、文化創造の貢献者としての側面も持ち合わせていました。

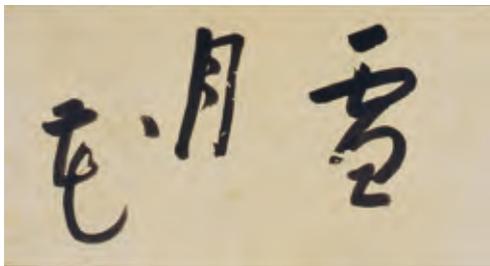
戦国武将としても知られる初代将軍徳川家康も文化との結びつきがありました。自ら書や絵画を描くとともに、活版印刷技術を用いて印刷事業に力を入れたことは著名な業績です。

一行書「雪月花」を章タイトルとした1章では三代将軍徳川家光と文化振興の様子を展示します。例えば、狩野派絵師の活躍にみられるように、絵画や漆工など多岐にわたる分野の芸術家の支援を行い、さまざまな分野で多くの作品が生みだされました。

2章のタイトルとなった厳しい字体の一行書「思無邪」は、五代将軍徳川綱吉の性格や学問などさまざまなことを思いおこさせます。綱吉と八代将軍徳川吉宗はとりわけ学問の奨励を重視した将軍でした。彼らによって振興された儒学思想と発展した科学は、日本



一行書「思無邪」 徳川記念財団所蔵



一行書「雪月花」 徳川記念財団所蔵

の近代化にとって重要な役割を果たしていき  
ます。

十一代将軍徳川家斉は半世紀にもわたる治世を保ち、平穏な時代を築きました。白河城主松平定信を老中首座に抜擢し、寛政の改革を実施しました。この頃、過去を回顧する事業が進められ、国内の歴史や文化財を見直すきっかけとなりました。その代表的な書籍が古宝物図録集の「集古十種」です。

天下泰平の江戸時代を通し、文化人として、また新たな文化の創造に貢献してきた将軍の姿は、近代の徳川宗家当主にも引き継がれました。徳川家達は貴族院議長を務めつつ、伝統文化を好みました。また、未開催とはなりましたが、1940年に開催が予定された第十二回オリンピック東京大会の組織委員会の委員長に就任し、日本のみならずアジア初の「平和の祭典」の開催に向けて尽力しました。

企画展を通して、文化人としての徳川将軍さらには文化に対する将軍の貢献を考えてみたいと思います。  
(学芸員 齋藤慎二)



集古十種 江戸時代 資料番号 88206201～6256



梨子地葵紋散蒔時絵刀掛 江戸時代 資料番号 10200047

から係事業展示

ホールリニューアル記念  
えどはく寄席スぺシャル  
「浮世絵と邦楽」  
——隅田川をめぐって——

2019年9月15日(日)、国立劇場との共催で、夏にリニューアルオープンした当館大ホールにて標記の公演を行いました。箏曲「ほととぎす」と舞踊・長唄による「風流船揃」の上演のほか、舞台転換の合間には公演解説を行い、曲の歌詞、関連する浮世絵などを紹介しました。

この公演に関連して、8月27日(火)から9月23日(月・祝)まで、同じタイトルの特集展示を、常設展示室江戸ゾーン「江戸の四季」コーナーで開催しました。両国川開きに繰り出した巨大な屋形船を5枚続きの画面いっぱいに描いた浮世絵などを展示しました。また、江戸時代、隅田川に架かっていた橋と渡ししの位置、船遊びに用いられた川舟の種類と大きさ、上演作品の歌詞をパネルで解説しました。

伝統芸能の公演と浮世絵展示の連携は、当館にとって大変意義深い取り組みとなりました。

(学芸員 松井かおる)



舞踊・長唄「風流船揃」 立方(踊り):花柳源九郎、唄:今藤長一郎、三味線:柁屋弥宏次、囃子:福原百之助ほか



箏曲「ほととぎす」 箏:山木千賀ほか、三弦:設楽千総代、笛:福原徹



常設展示室江戸ゾーン「特集展示」の様子

キュレーターズ・  
チョイス  
Vol. 6

江戸博コレクションから  
「百種接分菊」

赤や白、黄色など、色とりどりに咲く菊は、たつた一本の茎で支えられています。もとは一本の菊に、百種類もの異なる種類が接ぎ合わされた「百種接分菊」は、詞書によると、駒込の植木屋今右衛門が作ったとあります。江戸時代に人々の耳目を集めた花の一つである菊は、駒込や巣鴨などの標高があり、水はけの良い地でさかんに栽培されました。その種類は、当時の園芸書や番付によれば、優に百を超えています。

人々は菊に開花の美しさ以上のものを求めました。菊は接ぎ木が可能ですが、これまでに存在したのは、「十種二十種の接わけ」でした。植木屋の高度な技術と経験により、一本の茎から異なる百種類が一斉に開花するとうい、おそらく前代未聞の作品が完成しました。一つ一つの花には「高砂」「金屏風」など雅な名前が短冊に記され、集った老若男女の興味をより惹きつけています。

(学芸員 田中実穂)



「百種接分菊」  
歌川国芳/画  
1845年(弘化2)  
資料番号 93200932~34

# 稀代の刀工・長曾祢虎徹

学芸員

杉山哲司・文

## 近

年、オンラインゲームの影響により、刀剣が一大ブームとなっている。特に以前まであまり見かけることのなかった若い女性たちが、展示されている刀剣を熱心に鑑賞している。

当館でも刀剣を所蔵しているが、多くは江戸時代に作刀されたものである。その中から、「薙刀銘長曾祢興里入道虎徹」について紹介したい。作者は長曾祢虎徹。本名は興里で、虎徹は入道名号にあたる。虎徹の出自は諸説あるが、越前国(福井県)で甲冑師として活動し、江戸に移住した後、刀工に転身したとされる。

虎徹が刀工として活動した寛文・延宝年間、刀剣は実戦における武器としてではなく、鑑賞して楽しむ時代に變化しつつあった。精美な地鉄に華麗な刃文の美しい刀が贈答品として好まれたが、時代の流れに反し、虎徹は地鉄を強靱に鍛え、切れ味を追求したのである。

では、実際に虎徹の作刀を見ていこう。本作は薙刀という形で、現存する虎徹のものでは二口のみが確認

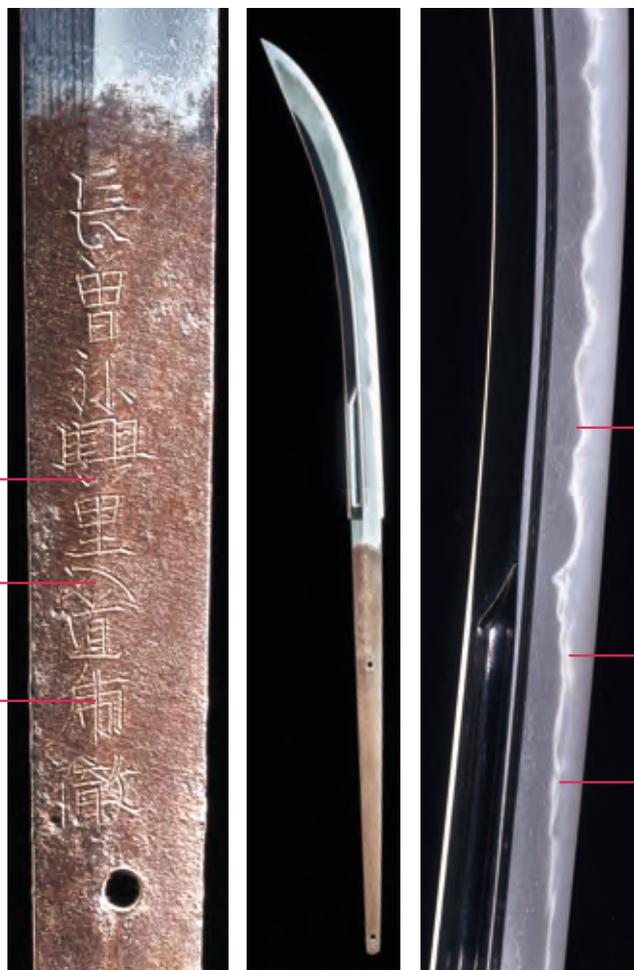
されており、貴重な作例と言える。地鉄は板目でやや肌立ち、地沸がよくつく。刃文はのたれに互の目が交

じり、足がわずかに入り、金筋・砂流しがよくかかる。具体的な作刀時期は不明だが、時期によって銘の特徴が変化しているため、ある程度判断することができる。①「興」の最後の二画「ハ」が平仮名の「い」に似ている(通称イおき)。②「入」の二画目が丸く内側に払うような形になっている。③虎徹の「虎」が「厖」(通称ハコトラ)になっている。この三点や銘の「長曾祢」の大きさが均等であること、他の作例を考慮すると、本作は1671年(寛文11)頃から虎徹が亡くなったとされる1678年(延宝6)の間に作刀されたものと考えられる。

江戸時代を通じて虎徹の評価は高く、刀工を番付で表した「慶長以来新刀番付」には勸進元として別格に位置づけられている。また、江戸時代に著した刀剣書でも格別に評価しており、まさに虎徹は江戸時代における「稀代の刀工」と言えるだろう。



写真2  
「慶長以来新刀番付」  
資料番号 98200330



- ①平仮名の「い」に似ている。
- ②二画目が丸く内側に払う
- ③「厖」

のたれに互の目が交じる。

砂流し

金筋

写真1  
薙刀銘 長曾祢興里入道虎徹  
江戸時代 17世紀  
資料番号 97202511



### 図書室から お知らせ

## 展示をもっと深く、 詳しく — 展覧会関連 — 図書コーナー —

図書室では2020年2月16日(日)まで、企画展「天下泰平—将軍と新しい文化の創造—」にあわせて、特集コーナーを設置します。歴代将軍の描いた書や絵画をはじめ、狩野派の絵師たちの作品や、松平定信を中心に編纂された古宝物図録集『集古十種』(明治41年国書刊行会版)など、江戸時代に育まれた豊かな文化と歴代将軍の関わりを、さまざまな図録や書籍をご紹介します。またその後は、2月8日(土)から4月5日(日)まで、特別展「江戸ものづくり列伝—ニッポンの美は職人の技と心に宿る—」にあわせて特集コーナーの設置も予定しています。

ぜひ展覧会とあわせてお楽しみください。

### 年末年始の開館のご案内

～1月2日・3日は常設展観覧料無料～

2019年12月28日(土)から2020年1月1日(水・祝)まで休館です。年始は1月2日(木)から開館します。また、2日(木)・3日(金)は常設展示室の観覧料が無料となります。※図書室は2019年12月10日(火)から2020年1月4日(土)まで休室です。

## 2020年(令和2)江戸東京博物館 開館日・休館日

休館日

臨時開館日

図書室整理休室

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※一部施設の休室や開館日を変更する場合があります。最新の情報は当館ホームページをご覧ください。



子宝湯

## 特別展「ぬくもりと希望の空間 〜大銭湯展〜」

会期：2020年  
3月3日(火)〜9月27日(日)

江戸時代に発達した銭湯は、時代とともに入浴方法や姿を変えながら、人々の暮らしの中に今日まで存在し続けています。

当園に移築されている復元建造物の銭湯、子宝湯(1929年(昭和4)築)は、にぎやかな装飾と社寺建築を思わせる外観を備え、関東大震災後の「東京型銭湯」の特徴を有しています。1988年(昭和63)まで足立区千住で営業していたこの銭湯には、脱衣所の外に設けられた縁側と庭、壁のタイル絵、浴室の富士山のペンキ絵など、やすらぎや開放感を演出する仕掛けが随所に施されています。銭湯は、そこで過ごすひとときが身体とこころをほぐし、活力を与える場でもありました。

本展では、東京の銭湯文化の歴史をひもとくとき、社会や人々との関わり方、またその変遷を展覧します。ぬくもりと希望に満ちた銭湯の魅力を、世界の広い世代へ向けて発信し、東京が誇る銭湯文化を将来に継承する一助となれば、と思います。

(学芸員 小林愛恵)

### 催し物のご案内

## 冬期ふれあい体験教室

- 講師：ふれあいボランティア ● いずれも参加無料(ただし常設展示室は観覧券が必要)
- 変更・中止の場合は当館ホームページでお知らせいたします。

### 事前応募制教室 開催場所：1階会議室

#### ● 歌舞伎の化粧をしてみよう

日時：3月7日(土) 13:30~15:30  
対象：高校生以上  
定員：12名  
応募締切：2月21日(金)



お申し込み方法

往復はがき(63円×2=126円)にて下記①~⑤を明記の上、ボランティア事務局までお申し込みください(締切日消印有効/1講座につきハガキは1枚)

①希望講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな/2名様まで) ④年齢 ⑤電話番号

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

江戸東京博物館 ボランティア事務局 ふれあい体験教室係

### 当日受付教室 開催場所：常設展示室5階ミュージアム・ラボ [1月11日(土)「三越双六で遊ぼう!」を除く]

#### ● 反古紙で折る小物 —江戸のエコロジーを見習おう—

日時：1月11日(土)、3月14日(土)  
13:00~15:30(受付終了15:00)  
対象：小学生以上



反古紙で折る小物

#### ● 和算パズル

日時：1月11日(土)、3月14日(土)  
13:00~15:30(受付終了15:00)  
対象：小学4年生以上

#### ● 三越双六で遊ぼう!

日時：1月11日(土)  
①13:30~13:50  
②13:50~14:10  
③14:10~14:30

各回開始5分前に会場前で受付開始

場所：5階 常設展示室 東京ゾーンT6モダン東京コーナー

対象：3歳以上

定員：各回5~6名

#### ● 歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう

日時：1月18日(土)  
①13:00~13:30 ②14:30~15:00  
対象：3歳以上

#### ● とぎめきモノ体験

日時：1月26日(日)、2月23日(日)、3月22日(日)  
各日：10:30~12:00(受付終了11:30)  
対象：3歳以上  
定員：30名程度

#### ● 「立版古」浮世絵を組み立てよう

日時：2月29日(土)  
13:00~15:00(12:50より会場前で整理券配布)  
対象：小学生以上  
定員：30名

#### ● 万華鏡で遊ぼう

日時：3月7日(土)  
10:30~12:00(10:20より会場前で整理券配布)  
対象：小学3年生以上  
定員：15名



「立版古」浮世絵

## ミュージアムトーク

- 常設展示室のみどころを学芸員が解説します。
- 日時：毎週金曜日16:00から
- 常設展示室5階の日本橋下までお集りください。所要時間は約30分です。

企画展「天下泰平」：1月10日・17日・24日

江戸の商業：1月31日、2月21日

江戸の四季と盛り場：2月7日・14日

出版と情報：2月28日、3月6日

企画展「市民からのおくりもの2019」：3月13日

高度経済成長期の東京：3月20日・27日

## 江戸東京博物館 NEWS vol.107

お問い合わせ 03-3626-9974 (代表)

ホームページ <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

来館のご案内 JR総武線「両国駅」西口から徒歩3分  
都営地下鉄大江戸線「両国駅(江戸東京博物館前)」A3・A4出口から徒歩1分  
都バス錦27・両28・門33系統 墨田区内循環バス南部ルート「都営両国駅前(江戸東京博物館前)」下車、徒歩3分

発行日 2019年12月20日(金)

編集・発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1

制作・印刷 株式会社D\_CODE



### 表紙解説

つるやうめがほめしるまきまきくぼん  
蔓梅擬白詩絵軸盆  
原羊遊齋/詩絵、酒井抱一/下絵  
1821年(文政4) 資料番号 91210668

【展示期間】2月8日(土)~3月8日(日)

黒漆地に金詩絵で蔓梅擬の枝が配され、2羽のメジロが止まる。赤い実は、珊瑚を用いてさまざまな表情を見せる。付属する共箱や書簡から、本作は江戸の材木商森川家の注文で、「江都四時勝景図」(狩野素川/画 当館蔵)を載せるために作られたものとわかる。(学芸員 落合則子)

